



第19回関西ながしま交流会 長島弁で会話が弾む

5月17日、長島町の出身者でつくる第19回関西ながしま会（赤瀬隆治会長）交流会が大阪市ホテル日航大阪で開催されました。この日は、川添町長を初め総勢約190人の出身者が集まりました。交流会では、赤瀬会長のあいさつの後、川添町長から本町の近況報告などがあり、参加者は熱心に耳を傾けました。懇親会では本町特産の焼酎「さつま島美人」の味に酔いしれ、長島弁を交えながら話しに花が咲き、踊りや「ふるさと」の合唱で大盛況。最後は長島の特産品抽選会で大賑わいとなりました。



ツフブキ「浮雲錦」を寄贈 浮かぶ雲の様な模様

5月7日、大尾為義さん（阿久根市）が、自宅で育てているツフブキ「浮雲錦」約20本を本町へ寄贈しました。浮雲錦は、白斑入りの葉が特徴的で、まるで空に浮かぶ雲の様な模様をしています。町の沿道を明るく彩る植物となっています。大尾さんは「自宅で育てているきれいな浮雲錦が増えたので、長島町の沿道にピッタリだと思い寄贈した。車窓からみんなの目に止まってもらえたらうれしい」と話しました。



川床コミュニティーセンターで音楽イベント 毎回楽しみなライブ

5月23日、川床コミュニティーセンターでシンガーソングライター宮井紀行さんの全国アジア弾き語りBEST TOUR EVOLUTION 48カ所目長島ライブが開催され、町内外から約100人の観客が訪れました。この日は、宮井さんと親交のある地元関係者がステージの前で踊りを披露し、会場は大いに盛り上がりました。出水市から訪れた赤瀬川まどかさんは「毎回長島での開催を楽しみにしている。次回もあればまた来たい」と満足した様子で話しました。



鷹巣小学校4年生福祉体験学習 大変さを理解できる体験

5月22日、鷹巣小学校（有村重輝校長・191人）の4年生30人が町社会福祉協議会職員の指導の下、町開発総合センターで福祉体験学習を実施しました。この日は、関節に曲がりにくいサポーターを付け、聴覚と視覚を遮断する疑似体験を階段の上りで体験した後、車いすに乗る側と押す側を交互に行い、介護についての理解を深めました。山本雪乃さんは「疑似体験も介護する側も大変だった。今後、高齢者や車いすに乗っている人を見かけたら気遣いをしたい」と話しました。